

令和2年度 音楽科 3年 シラバス

学期	月	題材名	題材のねらい	時間	観点別学習状況の評価規準	評価の方法						
						定期テスト	実技テスト	提出物	観察			
1	4	歌詞の美しさを味わって歌おう ・花	○歌詞の美しさを味わいながら、日本の歌曲を愛好する心情を育てる。	2	関・意 感・表 表・技	楽曲の特徴である歌詞の美しさや旋律の特徴に関心をもち、イメージをもって意欲的に歌おうとしている。	○	○	○	○		
		オーケストラの豊かな響きを味わおう ・名曲を味わおう ・ブルタバ (モルダウ)	○楽器の音色や音楽のさまざまな構成要素を聴き取り、曲を味わって聴く能力を育てる。	3	関・意 感・表 鑑賞	オーケストラの響きやいろいろな楽器によって生み出される曲想の変化に関心をもち、意欲的に聴き取ろうとしている。 いろいろな楽器によって生み出される曲想の変化を感じ取っている。 楽曲をその背景となる文化や歴史と結びつけ、総合的に聴き取ることができる。	○	○	○	○		
	6	歌詞の内容や曲想を味わって歌おう ・帰れソレントへ ・詩に旋律をつけよう (創作)	○歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する能力を育てる。 ○作曲家がどのようにして詩に曲を付けているのか理解して、作曲をする。	4 2	関・意 感・表 表・技	カンツォーネや歌詞に込められた思いに関心をもち、それを生かすのびやかな歌声作りや表現の工夫を意欲的に行っている。 調や強弱、速度や前半後半の曲想の変化を生かした表現を工夫している。 転調していることを見分けたりしながら、それを歌唱表現に生かすことができる。歌詞の構成・意味を理解しながら旋律を創ることができる。	○	○	○	○		
		楽器の特徴を生かして ・リコーダー演奏 ・簡単なアンサンブル	○曲にふさわしい音色や奏法を工夫しながら表現する能力を育てる。	3	関・意 感・表 表・技	各パートの役割や曲の仕組みに関心をもち、意欲的に表現しようとしている。 旋律やその重なり方の変化など、曲の構成を生かした表現を工夫している。 自分や他のパートの役割を理解して、合唱表現をすることができる。	○	○	○	○		
	2	9	合唱の喜び	○パートの役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。 ○学習発表会や市内音楽コンクールへの参加を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。	9	関・意 感・表 表・技	曲の強さや速さに関心をもち、曲想の変化を聴き取ろうとしている。 歌詞の内容に合った速さや強弱の変化を感じ取りながら、曲にふさわしい表現を工夫している。 音程やリズム、フレーズに気をつけながら曲のイメージをしっかりと表現できる。	○	○	○	○	
		10 11	・音楽コンクール、学習発表会の取組		☆言語活動		合唱曲の歌詞の内容や曲想、音楽の諸要素を根拠に表現する。		○	○	○	○
		12	心の歌 ・花の街 世界諸民族の音楽に親しもう ・世界の諸民族の音楽		2 3	関・意 感・表 感・表 鑑賞	日本の歌曲や雅楽に関心をもち、それぞれの曲や楽器の特徴を理解しようとしている。 詩に込められた思いを感じ取り、それを表現に生かしている。 音楽と踊りの関係に気づき、それぞれの特徴を感じ取っている。 踊りを通していろいろな国の音楽に親しみ、それらの歴史や文化を理解しながら聴くことができる。	○	○	○	○	
3	1	日本の音楽に親しもう ・雅楽と能 郷土の音楽★	○日本の伝統芸能の魅力や郷土の音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。	3	関・意 感・表 鑑賞	さまざまな踊りを伴った音楽に興味・関心をもっている。 日本古来の音楽の魅力を感じ取っている。 日本の伝統音楽に使われる楽器の音色の美しさを味わうことができる。	○	○	○	○		
		2 3	合唱の喜び 儀式 ・国歌 ・仰げば尊し	○歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する能力を育てる。 ○卒業式への取組みを通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。	4	関・意 感・表 表・技	曲の背景や作詞者の心情に関心をもち、歌いついでいこうとする意欲をもっている。 詩や旋律が生み出す情感を感じ取り、速度や強弱、歌い方などに着目して、自分なりの表現を工夫している。 曲の雰囲気合った強弱の変化などを感じ取り、表現に生かすことができる。	○	○	○	○	
	総時間数			35								

